

2023 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

一人ひとりが自分らしい生き方で社会に貢献できるよう、豊かな人間性と確かな学力が育つ学校をめざします。

1. 建学の精神「報恩感謝」を大切にし、教育理念「教育の目的は人をつくること」に基づく教育を実践することにより、人間的な成長・発展を実現し人格の完成をめざします。
2. 生活・学習の両面において基礎・基本を徹底的に行い、社会的自立にむけ、そのため必要な基盤となる能力や態度を育成します。
3. 一人ひとりが持つ可能性を開花させるため、主体的に生きようとする態度と能力を養います。
4. 地域とのつながり強化し、安全で安心な学校をつくります。

2 中期的目標

1. 建学の精神を土台とした私学の独自性
 - (1)建学の精神の理解と実践と教育計画の構築
2. 基礎学力の徹底と学園小独自のカリキュラムづくり
 - (1)基礎学力の徹底
 - (2)独自のカリキュラムづくり
 - (3)教員の指導力向上
3. 自律の意識を育むための基本的生活習慣の育成
 - (1)基本的生活習慣の育成
 - (2)規律遵守の向上
4. 社会性を培う集団活動の充実
 - (1)社会性や市民性を育む体験活動
5. 主体的な生き方の尊重
 - (1)主体的な学び、共によりよく生きていく考えの形成
6. 安全安心な学校づくりを目指した教育環境の充実
 - (1)防災教育・不審者対策
 - (2)危機管理と情報モラル
 - (3)美化
7. 内部連携の強化
 - (1)内部連携の強化
8. 生徒募集の対策
 - (1)生徒募集対策

【自己評価アンケートの結果と分析・学校協議会からの意見】

<p>学校教育自己診断の結果と分析 [2023年12月実施]</p>	<p>学校協議会からの意見</p>
<p>評価項目： 教育活動全般及び学校に対する 全体的評価を行った 評価方法： 各項目について、5段階評価を行 った 5:とてもそう思う 4:どちらかといえばそう思う 3:普通 2:あまり思わない 1:まったく思わな い ○児童・保護者アンケート集計・平均(カッコ 内は児童の平均) ・小学校に入学させて(して)よかった…4.6(4.6) ・学校は学力向上に力を入れている…4.2(4.6) ・指導方法は工夫され、分かりやすい…4.3 (4.4) ・主体性、自主性を育む環境が整っている… 4.5(4.4) ・まじめに授業を受けている…4.2(4.2) ・行事は楽しく充実している…4.7(4.8) ・学校のきまりはいいきまりだ…4.4(4.3) ・きまりの指導に力を入れている…4.2(4.5) ・きまりやマナーを守っている…4.0(4.2) ・児童会活動や係り活動をがんばっている… 4.5(4.7) ・友だちとうまくいっている…4.3(4.4) ・先生と子どもはうまくいっている…4.5(4.2) ・ケンカいじめに対応する…4.3(4.3) ・制服、ランドセル、体操服が気に入っている… 4.2(4.1) ・校内の習い事や同好会は充実している… 4.1(4.2) ・校内の施設、設備は充実している…4.2(4.3) ・教室や学校の中はいつもきれいになっている …4.2(3.8) ・成績のお知らせやお手紙をきちんと出してい る…4.3(4.8)</p>	<p>〈小学校評価委員会を開催〉2024年2月実施 1.「学力・教え方の工夫やマナー」について 児童の評価が下がっている項目があり、今後何が必要でしょうか。ま た、どのようなことを改善すればいいでしょうか？(特に問2・問3) ・ずばりの質問がなく、自分がそうおもっているという質問ではない。 ・すべての質問において、「うまくいっていない」という回答したなら、 答えの次に、「なぜそう思うのか」という設問をつけてあげると児童も保 護者も答えやすい。そうすると、評価委員も判断しやすい。数字だけ で見ても理由がわからない。設問回答欄があれば何か書いてくれる のではと思う。 ・何を不満と思っているのかがこの評価(数値)では読み取りにくい。 学校としてどこが悪いのかわかっているのか。 ・どうして数値が下がっているのか、どこが不満だったのかが具体的 にわからないと改善がしにくいのではないか。例えば理由として「宿題 が少ない」とか。効果的にしないと、よけいに児童や保護者に負担が かかるので、方策を増やせばいいというものではない。 ・2020年頃はコロナの時期で、その時期と今を比べてみて、この数 値が実際に反映しているのかは疑問である。子どもにすると、以前の リモートの方が楽しかったと思っているのかもしれないし、保護者は今 のように学校で授業してほしいし、安心できるから通常の授業が戻っ てきたと考えて評価しているかもしれない。なんともいえない悩む項目 である。 ・アンケート項目に悩み、回答しづらい設問もある。だからといって設 問数を増やすと児童は答えられるのか。3クラス同一授業なのか、そ れとも先生やクラスによってばらつきがあるのかもしれない。職員間の 授業の進み具合にも差がでているのであれば検討する必要がある。 ・年々保護者の期待が大きくなり、求めることが増えてきているよう に感じる。このままでは教員や児童に負担が増える可能性もある。 ・質問内容が大まかで、今後質問内容を検討していく必要がある。 ・評価が上がった項目を分析するべきであり、今後学校はどのように 実践したかをわかりやすく回答しておけば、評価においても保護者は 理解しやすい。今後、先生方がどう受け止め、どのように生かしてい くかが大事なところである。 2.「行事」について 保護者、児童ともに、前年度同様高い評価となりましたが、今後行事 を見直していく必要性や改善が求められることはあるでしょうか？特 に今年度行事の見直しを図った修学旅行、ハートグローバル、Enjoy</p>

<p>教職員の自己評価・平均値</p> <p>教育方針に基づいて、具体化を図っている…4.5</p> <p>十分な検討のもと、年間教育計画を立てている…4.3</p> <p>教務主任を中心として、機能的に運営されている…4.0</p> <p>全職員研究会・学年会議を、有効に機能させている…4.1</p> <p>学校経営の財務状況に基づき、健全な運営を行っている…4.1</p> <p>学校HPの公開掲示板や通信等で、教育活動の情報提供に努めている…4.0</p> <p>緊急時のマニュアル整備や防災訓練など、安全対策をとっている…4.3</p> <p>教育活動がしやすく、子どもにとっても好ましい環境が整っている…3.6</p> <p>職員の適切な勤務実態と健康管理につとめている…3.5</p> <p>分かりやすい授業の実践に努めている…4.5</p> <p>学習意欲向上に努めている…4.5</p> <p>学力向上に努めている…4.5</p> <p>社会的マナー・モラルの定着に努めている…4.4</p> <p>思いやりのある態度育成に努めている…4.5</p> <p>保護者との連携に努めている…4.5</p> <p>人権意識向上に努めている…4.3</p> <p>自然環境保全の意識向上に努めている…3.8</p> <p>衛生的で健康な生活の知識技能の指導に努めている…4.1</p> <p>防災や安全に関する指導に努めている…4.5</p> <p>主体性を重視した指導に努めている…4.4</p> <p>読書指導に努めている…4.1</p> <p>挨拶など礼儀を重んじる態度の定着に努めている…4.2</p> <p>時間を守るなど、規則を守る態度の定着に努めている…4.4</p> <p>物を大切に作る心や、美化意識の向上に努めている…4.1</p> <p>学習の遅れている児童への支援を行っている…4.3</p> <p>問題を抱えた児童や保護者への相談活動に</p>	<p>活動についてどのように思われましたか？(主に問6)</p> <p>修学旅行・・広島での民泊体験や味覚体験、しまなみ海道サイクリングを導入しました。</p> <p>ハートグローバル・・対面型プログラムでのワークショップやショーを再開しました。</p> <p>Enjoy 活動・・スクールより特別活動時に行う「自由選択制のクラブ活動」にカリキュラムを変更した。</p> <p>また、次年度より開始する2年生の宿泊行事「フレンドキャンプ」は、どのような意見をお持ちですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年生に新たな行事が増えたので今後行事の評価は上がると思う。 ・行事は子どもたちが本当に楽しみで、他の学校と比べても充実しており、さらにブラッシュアップしていってくれたらよいと思う。 ・満足しているが、行事の安全性も今後も考えていってほしい。 ・6年修学旅行、民泊や味覚狩りなど3日間息子がとても楽しんでいった。すごくいいことをさせてもらっている。 ・民泊の方の選定はどのように決められましたか？→旅行会社から民泊で実績のある地域を選択した。(下見も実施) ・臨海学校も全員が海に入れた。雨のプログラムも充実していた。 ・ハートグローバルが対面型に戻ったが、やっぱり良い。保護者もこれからも希望されている。 ・ハートグローバルはホストファミリーもすぐに決まり、皆さん協力的でよかった。 ・子どもたちがあの舞台で見事にやり遂げることがすばらしい。今後、保護者、特に役員の方にも体験してほしい。 ・正規の時間割の中で、クラブ活動ですから、教員の働き方改革にもつながっている。 ・学園小のクラブ活動として、目的をしっかりとって活動を進めてほしい。きっかけ作りの場としてもよい。なるべく子どもたちがやりたいものをクラブとして、活動をがんばってほしい。 ・「子どもたちを強くならしたいのか」「楽しませたいのか」によってenjoy 活動の方向性はかわるはず。 ・全員参加していることはいいことである。 ・いろいろな事を求めすぎると、人手が必要となってきたり、保護者の力も必要となってくる。部活動止まりにしておいた方がよい。もっとうまくなりたいたいという児童には外部での習い事という考えの方が親としても割り切ってわかりやすい。
--	---

自己評価の分析と課題

○ 学校運営に関する評価は前年からポイントが下がったものが 4項目、上がったものが4項目である。

・学校運営に関する評価については当面の目標である4.0以上の評価が設問9項目中の7項目に増えた。教育方針や学校運営を教職員全員が良く理解し、少子化に伴う私学経営の危機感を共有し、学校経営計画に沿って教育に専念するよう今後も努力が必要である。

○ 教育内容に関する項目は、前年と同様の4.0以上の評価である。10.11.12.20.21.25

また、生活指導について(時間遵守・挨拶と礼儀)も4.0以上の評価である。13.14.22.23

・保護者、児童のアンケートと著しくポイントがずれた項目はない。学習に関する評価は、保護者、児童、教職員ともおおむね満足していることを示している。

また、教職員は様々なことに挑戦して、「新たな行事」へ取り組んだことなどについては、評価につながっているものと思っている。

次年度はより一層改善を加え、指導力向上に努め、行事の内容改善にも取り組みたい。

○ 教員研修に関する評価のうち、「教育生活指導の意見交換」「外部研修内容の共有」の項目について評価が下がった。また、「研究・研修の支援制度」「外部研修内容の共有」の項目については、目標には達しなかった。

・教員研修に関する評価については、「計画的な教職員研修」の項目については評価がよく、その改善に努力した成果が見える。

今年度は、『1. 建学の精神の理解と実践と教育計画の構築 2.基礎学力の徹底と学園小独自のカリキュラム作り 3.自律の意識を育むための基本的生活習慣の育成 4.社会性や市民性を育む体験活動 5.主体的な学び、共によりよく生きていく考えの形成 6.安全安心な学校づくりを目指した教育環境の充実』を重点目標として取り組んできた。今年度も外部研修や自己研

3.「学校の美化」について

児童の評価が低く、保護者の評価が前年度と同じ結果となりましたが、小学校の施設の改修工事や校内の安全性と美化についてどう思いますか。もし改修工事をするなら、具体的にどのような箇所が必要と考えられるでしょうか？(問17)

- ・「なぜそう思いますか」という問題の次の問題、答えが大事である。
- ・掃除をしている人、掃除をしたがらない人がいて、場所がきれいになっていないために、子どもたちの評価が低いことも考えられる。
- ・評価が低い原因として、きちんと清掃をしない子どもたちがいるという評価かもしれないし、もっときれいにしようという気持ちの表れかもしれない。
- ・「きれいってなに？」ということがわかっているのか？古くてもきれいなのか？ぴかぴかできれいなのか？設備とか汚れとか片付けてないからとか理由がいろいろとあるはずである。

4.「学校全体・その他」について

教職員の自己評価について

- ・教員の自己評価にもありましたが、3点台が5つあります。4.5 までほど遠いですし、理由がわからない。どうしてなのか、どうしたらいいのかを教えてくれたら対応できるとおもう。
- ・勤務実態もここ数年の変形労働制にかわりましたので、影響があるかもしれない。
- ・自主的な研修にここ数年なかなか行けなかったこともあり、教員間で共有できていないこともある。

児童のアンケートについて

- ・児童アンケートで、(問12・13)先生と子どもの関係性の質問が気になる。0.4も差があるのは、気になる。
- ・クラスごとの問題かもしれず、その様な問題を子どもたちに解決や納得させられていけばよいことである。子どもの成長過程では必要な事なので、そのあたりの指導をしっかりとしていきたい。
- ・先生どうまくいっていないと思っている子どもがたくさんいるというこの評価が気になる。
- ・制服(問14)も気になります。
- ・「学園小のきまりって何？」と子どもに問いかけて、子どもたちにその意識が入っていないのではと感ぜられる。

行事について

- ・行事、特に秋祭りで保護者が教員に尋ねても、的確に返答できないことがあった。以前に保護者が資料として残しても、前担当の教員

<p>鑽に参加することができていなかったが、来年度は外部研修に参加し、一層の強化に努め、教員の資質向上に努める。</p>	<p>が持ったままの可能性はある。教員間での引き継ぎをしっかりとしてほしい。</p>
--	--

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標	自己評価
1. 建学の精神を土台とした私学の独自性	建学の精神の理解と実践と教育計画の構築	<p>①職員研修などを通して、建学の精神・教育理念や方針を理解し、実践します。</p> <p>②小学校教育指針に基づく教育計画の構築し、実践します。</p>	<p>①教育方針の具体化に関する教員自己評価 4.4 以上を目指します。(令和 4 年度 4.4)</p> <p>②年間教育計画に関する教員自己評価 4.2 以上を目指します。(令和 4 年度 4.1)</p>	<p>①教育方針の具体化に関する教員自己評価 4.5 で目標に達しました。</p> <p>②年間教育計画に関する教員自己評価 4.3 で目標に達しました。</p>
2. 基礎学力の徹底と学園小独自のカリキュラムづくり	(1)基礎学力の徹底	一人ひとりの興味関心を大切に、学習に自信を持たせるように配慮し、意欲的態度や実行力を養いながら基礎学力の徹底を図ります。	<p>保護者アンケート「基礎学力向上を目指して努力している」の評価を 4.2 以上に向上します。(令和 4 年度 4.1)</p> <p>学力向上に関する教員自己評価 4.5 以上を目指します。(令和 4 年度 4.5)</p>	<p>保護者アンケート「基礎学力向上を目指して努力している」の評価を 4.2 で目標に達しました。</p> <p>学力向上に関する教員自己評価 4.5 で目標に達しました。</p> <p>一定の評価を得ていますが、これからも教科内容を精選し、学力向上に向けて努めたいと考えています。</p>
	(2)独自のカリキュラムづくり	①指導要領の内容に加えて、学園小独自に開発・改良を加えた学習を組み合わせて、より子どもたちがわかりやすい授業を実践します。	①保護者、児童アンケートのうち、「教え方は工夫されている」の評価を保護者 4.2 以上、児童 4.5 以上に向上します。	①保護者、児童アンケートのうち、「教え方は工夫されている」の評価を保護者 4.3 以上で目標に達しましたが、児童 4.4 で目標に達しませ

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標	自己評価
		②英語教育の充実・ICT 機器を用いた各教科の効果ある授業の実践を目指します。	②わかりやすい授業の実践に関する教員自己評価 4.5 以上を目指します。(令和 4 年度 4.5)	<p>んでした。</p> <p>②わかりやすい授業の実践に関する教員自己評価 4.5 で目標に達しました。</p>
	(3)教員の指導力向上	<p>①教員の指導力向上を目指し、研修を計画するとともに、定期的に学習内容を公開し、教育関係者の意見を参考に教育内容を精選、改善します。</p> <p>②外部研修への参加や個人研究・研修の支援制度をつかい、教員の指導力向上を目指します。</p>	<p>①計画的な教員研修に関する教員自己評価 4.4 以上を目指します。(令和 4 年度 4.4)</p> <p>②外部研修への参加や個人研究・研修に関する教員自己評価 4.0 以上を目指します。(令和 5 年度 3.5)</p>	<p>計画的な教員研修に関する教員自己評価 4.4 で目標に達しました。</p> <p>引き続き石川晋氏(授業づくりネットワーク)、岩坂尚史氏(お茶の水大学附属小学校所属)、野澤智子氏(文芸研究)を招聘して、たくさんの助言をいただきました。また、校内研修会で相互の授業を参観したり、授業実践したりしたことなどが効果的でした。</p>
3. 自律の意識を育むための基本的な生活習慣の育成	(1)基本的な生活習慣の育成	<p>①「何を」「どの機会に」しつけるかを熟慮し、規範を示すことにより、生涯にわたる自律の意識を育む指導を行います。</p> <p>②意識的に縦割り集団を組織したり、グループ活動を取り入れたりして「みんなでいっしょに」「高学年を敬う」「低学年を育む」を常に考えさせることで、自律の8意識を育みます。</p>	<p>①礼儀を重んじる態度に関する教員自己評価 4.4 以上を目指します。(令和 4 年度 4.4)</p> <p>②保護者アンケート「子どもの主体性・自主性は育む環境が整っている」の評価を保護者 4.5 以上を目指します。(令和 4 年度 4.4)</p> <p>主体性重視に関する教員自己評価 4.4</p>	<p>①礼儀を重んじる態度に関する教員自己評価 4.2 で目標に達しませんでした。</p> <p>②保護者アンケート「子どもの主体性・自主性は育む環境が整っている」の評価を保護者 4.5 で目標に達しました。</p> <p>主体性重視に関する教員自己評</p>

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標	自己評価
			以上を目指します。 (令和4年度4.4)	価4.4で目標に達しました。
	(2)規律遵守の向上	規律遵守の意識レベルの向上を図ります。	児童・保護者アンケート「きまりやマナーの指導に力を入れている」の評価を児童4.5 保護者4.2以上に向上します。 規則を守る態度に関する教員自己評価4.3以上を目指します。(令和4年度4.3)	児童・保護者アンケート「きまりやマナーの指導に力を入れている」の評価を児童4.5 保護者4.2以上に向上しました。 規則を守る態度に関する教員自己評価4.4で目標に達しました。 マナー・しつけについて、学期ごとの目標を定め、児童に周知しました。これからも学校全体で検討し、よりよい学校作りに努力します。
4. 社会性を培う集団活動の充実	社会性や市民性を育む体験活動	①子どもの成長の糧となるもの、時代の要請に答えるべき行事を見極め、「何をこそ学ばせるべきか」を熟慮探求します。 ②集団生活を通して、子ども同士のコミュニケーション能力を培っていきます。また、子ども自身の活動を重んじ、実行を助け、その結果を常に振り返るように指導します。 ③体育会や秋祭りなどの全校行事、修学旅行などの宿泊行事をさらによりよき体験活動になるよう改善していきます。	①② 児童・保護者アンケート「子どもの友達関係はうまくいっている」の評価を児童4.5 保護者4.3以上に向上します。 学習意欲の向上に関する教員自己評価4.6以上を目指します。(令和4年度4.6) ③保護者、児童アンケートのうち、「行事は楽しく充実している」の評価を保護者	①② 児童・保護者アンケート「子どもの友達関係はうまくいっている」の評価を児童4.4で目標に達しませんでした。保護者4.3以上に向上しました。 学習意欲の向上に関する教員自己評価4.5で目標に達しませんでした。 ③保護者、児童アンケートのうち、「行事は楽しく充実している」の評

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標	自己評価
			4.6 以上、児童 4.8 以上に向上します。	<p>価を保護者 4.6 以上、児童 4.8 以上に向上しました。</p> <p>今年度からは、体育会・音楽会・秋祭りなど、できる限りコロナ前に近づけたため、評価されたと考えます。宿泊行事については、修学旅行・自然学校・カントリーステイ・臨海学校・ハーベストステイ・スキーを実施しました。</p>
5.主体的な生き方の尊重	主体的な学び、共によりよく生きていく考えの形成	<p>①道徳教育 学級生活や道徳の授業を通して、多様な価値観を認め合い、共に生きていこうとする態度を養います。</p> <p>②人権教育 人としての在り方・生き方を考え他者とともによりよく生きていくための人権意識を育成します。また、いじめ等の予防、早期発見のため「いじめアンケート」や「日記」などから迅速に方策をねり、対応します。</p>	<p>①思いやりのある態度に関する教員自己評価 4.5 以上を目指します。(令和 4 年度 4.5)</p> <p>②人権意識向上に関する教員自己評価 4.2 以上を目指します。(令和 4 年度 4.2)</p>	<p>①思いやりのある態度に関する教員自己評価 4.5 で目標に達しました。</p> <p>②人権意識向上に関する教員自己評価 4.3 で目標に達しました。人権教育に関しては高評価でもあり、今まで通り綿密な計画を立て、実施します。しかし、『友達関係は、うまくいっている。』『先生と子どもたちは、うまくいっている。』『けんかやいじめがあったら、すぐに対応してくれる。』等</p>

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標	自己評価
				の項目は、児童の評価が下がっています。引き続き対応、研修を重ねる努力をしたいと考えています。
6.安全安心な学校づくりを目指した教育環境の充実	(1)防災教育・不審者対策	児童の生命を守るために、地震などの一般防災に関する対策とマニュアルや不審者等の危機管理に関する対策とマニュアルなど緊急時の対応を常に再検討し、訓練を実施し、校内の安全性を高めめます。 また、災害に備えて備蓄品を整えます。	緊急時・防災訓練等安全対策の教員自己評価4.4以上を目指します。(令和4年度4.4)	緊急時・防災訓練の安全対策に関する指導の教員自己評価を4.3で目標に達しませんでした。 防災教育では、避難訓練を実施することで、防災意識を高めることを努めます。また、不審者等の訓練も実施し、校内の安全を高めめます。
	(2)危機管理と情報モラル	①自他の命を尊び、安全なくらしを希求する態度を育てることをめあてに、「非行防止教室」等の外部組織の研修を受け、一人ひとりの安全意識向上に役立てます。 ②「情報モラル教育」授業を行い、携帯やパソコン等の情報機器の正しい使用法を習得させます。特に個人に係わる情報の公開の危険性は人権の観点からも指導します。	①防災や安全に関する指導の教員自己評価4.2以上を目指します。(令和4年度4.2) ②マナー・モラルに関する教員自己評価4.2以上を目指します。(令和4年度4.2)	①防災や安全に関する指導の教員自己評価4.5で目標に達しました。 ②マナー・モラルに関する教員自己評価4.4で目標に達しました。
	(3)美化	①落ち着いた環境の下で、安全に学校生活を過ごせるように、教室や運動場等の美化に取り組みます。	①児童・保護者アンケート「学校の美化は行き届いている」の評価を、児童4.1保護者4.1以上に向上します。 美化に関する教職	①児童・保護者アンケート「学校の美化は行き届いている」の評価を、児童3.8で目標に達しませんでした。保護者は4.1

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標	自己評価
		<p>②老朽化した設備を修理・改修し、校内の安全性を向上します。</p>	<p>員の自己評価 4.1 以上を目指します。(令和 4 年度 4.1)</p> <p>②保護者アンケート「学校の施設設備は安全を考慮し整備されている」の評価を 4.2 以上に向上します。</p> <p>好ましい環境に関する教員自己評価 4.0 以上を目指します。(令和 4 年度 3.8)</p>	<p>以上に向上しました。</p> <p>美化に関する教職員の自己評価 4.1 で目標に達しました。</p> <p>②保護者アンケート「学校の施設設備は安全を考慮し整備されている」の評価を 4.2 以上に向上しました。</p> <p>好ましい環境に関する教員自己評価 3.6 で目標に達しませんでした。</p> <p>これからも安全に学校生活を過ごせるように、教室や運動場等の美化に取り組みます。今年度は、小学校校舎のトイレ改修工事(1階2階3階)と体育館空調工事とトイレ改修工事を行いました。</p>

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標	自己評価
7.内部連携の強化	内部連携の強化	<p>①中学校 小中連絡会などを通じ、教員間の相互理解と交流を深めます。 授業やクラブ体験を設け、中学の活動に親しみ、内部進学者数の増加に努め、募集活動を充実します。</p> <p>②幼稚園 幼小連絡会などを通じ、教員間の相互理解と交流を深めます。 絵本読み聞かせや合同物作り体験を設け、小学校の活動に親んでもらい、内部進学者数の増加に努め、募集活動を充実します。</p>	<p>①令和4年度は、中学内部進学者65名(66%)でした。(98名中)(令和5年度入学者) 令和5年度は、内部進学者70%以上を目標とします。</p> <p>②令和4年度は、幼稚園からの内部進学者は32名でした。(令和5年度入学者) 令和5年度は、内部進学者45名以上を目標とします。</p>	<p>①令和5年度は、中学内部進学者56名でした。(91名中)(令和6年度生入学者) 令和6年度は、内部進学者70%以上を目標とします。</p> <p>②令和5年度は、幼稚園からの内部進学者は34名でした。(令和6年度生入学者) 令和6年度は、内部進学者45名以上を目標とします。</p>
8.児童募集の対策	児童募集対策	<p>①学校ホームページや広報活動(パンフ配布)などの活動を拡充します。 外部幼稚園や幼児教室での入試説明会や体験授業の実施し、外部からの受験者増加につなげます。</p> <p>②外部幼稚園や幼児教室への広報活動を拡充します。</p>	<p>①学校ホームページ等の情報提供に関する教員自己評価4.3以上を目指します。(令和4年度4.3)</p> <p>②令和4年度は、入学生)は80名でした。(令和5年度入学者)(12月現在) 令和5年度は集定員充足90名以上を目標とします。</p>	<p>①学校ホームページ等の情報提供に関する教員自己評価4.0で目標に達しませんでした。</p> <p>②令和5年度は入学者77名でした。(令和6年度生入学者)(2月現在) 令和7年度は集定員充足90名以上を目標とし、私立小学校のひとつとして、建学の精神に基づき、さらに特色のある教育を進めていきます。</p>